

第181回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和5年11月24日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第181回船員部会

日 時 令和5年11月24日(金) 13:30~

場 所 WEB開催

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理、
豊田委員、鈴木委員

労働者委員 : 甲斐委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 平岡委員、村上委員、千葉委員

運輸局 : 山本海事振興部長、斉藤海事振興部次長
柳松船員労働環境・海技資格課長

菊地船員労政課長、鈴木専門官、高橋労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(9月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

◎開 会

【齊藤海事振興部次長】

〔第181回船員部会の成立状況について報告〕

〔配布資料確認〕

◎議 事

【高橋部会長】

それでは、早速議事に入りたいと思います。

議題（１）に入る前に、前回の部会で千葉使用者委員からご意見のあった旅客船における改良型救命いかだの義務化と補助制度について、事務局から説明をお願いします。

【齊藤海事振興部次長】

先日の部会において、千葉使用者委員から情報提供をいただいた際、旅客船における改良型救命いかだ、救命浮器の義務化に関し、補助制度はあるものの、それぞれの開発状況や納品時期などを考慮すると申請締切りまでに間に合わないなどの問題がある旨、ご意見をいただきました。また、部会長のほうからも、事務局から中央、本省に対し意見・要望を伝えていただけないかとのお話をいただいたところです。

現段階の対応としましては、先日、東北旅客船協会さんからも本件に関する要望書、東北管内の旅客船事業者の現況も含め要望書の提出があったため、当局の担当の部署のほうから本省の担当部署に提出し、回答を求めているところであります。船員部会の場で委員の方から意見が出された旨も伝えております。

これを受け、本省の担当部署でも検討を重ねているということで、いずれ何らかの回答があるものと承知しております。

【高橋部会長】

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。よ

ろしいですか。

では、ないようですので、「議題（１）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔菊地船員労政課長から資料１～７に基づき説明〕

【高橋部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。ありませんか。

それでは、ないようですので、ご了承いただいたものといたします。

続きまして、「議題（２）情報提供について」に入ります。

委員の皆様から情報提供をお願いします。最初に、労働者委員からお願いします。

【高橋（雅）労働者委員】

私のから２点ほど報告します。

１点は、他地区の最低賃金専門部会の経過についてです。11月17日、沖縄海上旅客運送業について、職員7,400円アップの25万5,750円、部員が6,000円アップの19万2,900円。同じく沖縄の内航鋼船運航業及び木船運航業が職員A・B、部員A・Bとも7,200円のアップ額です。職員Aが25万8,950円、職員Bが24万2,500円、部員Aが20万350円、部員Bが19万1,050円となっています。関東の内航鋼船運航業ですが、11月22日に職員A・B、部員A・Bとも7,500円のアップ額を確認しております。改定金額が職員Aで26万400円、職員Bで24万3,650円、部員Aで20万1,800円、部員Bで19万2,200円となっています。

あともう１点です、11月7日から11月9日の３日間、FOC・POCキャンペーンを行っております。東北地区に関しては、前回9月に行ったキャンペーンと同じように、仙台塩釜港、石巻港で行っております。外国船の未組織船3隻、組織船2隻に訪船をしております。

【高橋部会長】

ありがとうございました。

それでは、ほかありますか。奈良委員、お願いします。

【奈良労働者委員】

小名浜地区からサンマ情報を1件報告させていただきます。8月20日以降、サンマ棒受網漁船の操業を続けておりますが、現在は岩手県沖で操業を行いまして、小名浜地区の4社5隻につきましては、これまで多い船で4回、少ない船で2回小名浜港に入港して水揚げを行っております。水揚げ内容につきましては、1隻当たり10トンから20トンぐらいということで、非常に厳しい状況ではありますが、切り上げ時期はまだ未定で、例年は12月中旬頃の切り上げをしております。

【高橋部会長】

ありがとうございます。

では、甲斐委員、お願いします。

【甲斐労働者委員】

八戸地区の大型イカ釣り漁船、北太平洋と西経漁場でのムラサキイカ漁を終え、切り上げております。また、遠洋の底刺し網漁船については、10月末までが天皇海山の操業で、現在は小笠原沖での操業を開始いたしております。

【高橋部会長】

ありがとうございました。

続きまして、使用者委員の千葉委員、ありますか。お願いします。

【千葉使用者委員】

大島汽船の千葉です。2点ほどございます。

まず第1点は、先ほど事務局のほうからご紹介いただきました、先般10月27日に高橋部会長から取り上げていただきました改良型救命いかだ、救命浮器の設置義務化についての案件がございまして、これは東北旅客船協会のほうで取りまと

めて、海事振興部長のほうに要望書ということで取り上げていただきまして、詳しくは先ほど事務局からお話がありました。大変ありがたく思っております。

次に2点目としまして、11月28日、初めての試みと思われるのですが、旅客船事業者と旅行会社のマッチング企画、商談会がありまして、地域への集客や地域活性化を図るための商談会となっており、これを生かしてより多くの集客を求めよう形になっておりますので、ぜひこれは今後とも継続してやっていただければと思っております。

【高橋部会長】

ありがとうございました。

それでは、平岡委員、お願いします。

【平岡使用者委員】

日本内航海運組合総連合会がまとめた2023年度上期の内航貨物船輸送量は、前年同期比0.4%増の9,797万8,000トンでした。半期ベースのプラスは4期ぶりで、国内生産が回復傾向にある自動車が21%増と輸送量全体の伸びを牽引しました。石炭やコークスなどの燃料も、火力発電所のトラブルなどで減少した前年の反動から13%増えました。自動車や燃料以外の産業資材の荷動きは低調で、鉄鋼は8%減、セメントは6%減、鉄鋼やセメントに使われる石灰石などの原料も6%減、紙・パルプも4%減、雑貨も6%減となりました。記録的な猛暑により飲料などは堅調に推移しましたが、製品価格の度重なる上昇から消費の落ち込みが見られるようです。

【高橋部会長】

では、村上委員、お願いします。

【村上使用者委員】

村上です。私から、気仙沼のほうからは特にありません。よろしく願います。

【高橋部会長】

ありがとうございました。

それでは、そのほか労働者委員、使用者委員の情報提供に関して何かご意見あるいは追加事項はありますでしょうか。ないですか。

それでは、ないようですので、「議題（3）その他」に入ります。

委員の皆様から何かございますか。

それでは、ないようですので、本日の議事は終了となります。

次回の船員部会は12月22日金曜日の13時30分から、今度は対面で行います。

それでは、事務局よろしく申し上げます。

【齊藤海事振興部次長】

事務局です。事務局からは議事録についてでございます。

第179回議事録の案につきまして、事前に郵送させていただきました。既にご連絡いただいた方もおられますが、ご確認の上、修正等ございましたらご連絡くださいますようお願いいたします。

また、第178回議事録については、一部修正のご指摘があり、正誤表のとおり修正いたしました。その他は特にご指摘ございませんでしたので、このまま確定版とさせていただきます。

以上で、本日の船員部会を終了いたします。皆様、大変お疲れさまでした。

◎閉 会